



ウンカの被害にご注意を！



宮農経済課 TAC
堀井 崇史

昨年、当JA管内でもウンカの被害が多数確認されました。ウンカには「トビイロウンカ」「ヒメトビウンカ」などがあり、東南アジアから気流(台風)に乗って毎年飛来してきます。また、繁殖力が非常に強く大発生して米の収穫に大打撃を与えるだけでなく、ウイルスなども媒介します。被害が出る前の予防、また出た後の対策をしっかりと行っていきましょう！

被害の特徴

特にトビイロウンカは若い稲の生育時期や収穫時期に発生することもあり、定住型で世代交代が早く増殖を繰り返します。

増殖した虫がイネを吸汁し、吸汁害が起こります。被害は生息密度が高い部分から坪状に枯れ始め、枯れ込みは周囲へ広がっていきます。(下図参照)

刈り取り直前にも発生する場合もあるので農薬を使用する際は使用時期を確認し、散布できない場合はできるだけ早く刈り取りを行い、被害を最小限に抑えていきましょう。



<トビイロウンカの成虫>
(左 雌) (右 雄)



<トビイロウンカによる坪枯れ>

発生した場合の被害拡大防止に！

トレボン乳剤 100ml&500ml

★ウンカ類だけでなく広い範囲の害虫に有効。少量多品目の栽培体系が多い当組合管内では使いやすい農薬の1つです。

※防除ポイント

ウンカは稲の株元に集中して発生するので、株元を中心に散布してください。被害を拡大させないため、発生した箇所だけ散布するのではなく、発生箇所の周辺も散布するようにしてください。

また、カメムシ防除時に「スタークル豆つぶ」を使用すれば、ウンカ・ヨコバイにも登録があるので予防としても効果的です。



適用作物および使用方法							
作物名	適用病害虫	希釈倍数・使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	適用場所	散布液量
稲	ウンカ類	1000～2000倍	散布	収穫14日前まで	3回以内	-	60～150L/10
	ツマグロヨコバイ	1000～2000倍	散布	収穫14日前まで	3回以内	-	60～150L/10

100ml
1,056円(税込)

500ml
5,115円(税込)